

事業報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

厳しい財政状況下、基本的な事業に絞って取り組んで参りました。
調査研究事業は、収集資料から音の技術・研究動向を探りました。
研究助成事業は、72件の応募の中から10件に助成金を交付致しました。
講演会等事業は、本年度助成テーマから3件を選んで講演会を開催致しました。

機関誌「サウンド」は第26号を発刊し、本年度の助成対象者から4名の方々に執筆を頂くと共に、今日までの助成研究テーマ及び調査研究報告書の一覧を掲載して広報に努めました。

以下、事業結果をご報告申し上げます。

1. 試験研究事業

1) 調査研究事業

(1) 音に関する学術研究動向の技術調査

前年度からさらに論文等を収集して音の技術・研究動向を探ってきたが、音そのものに関する技術資料が少なく、研究動向として傾向を探ることは困難であった。新財団としてもこの分野の動向には注目して行く。

一方、Webデータベースの配信に次のものを追加した。

- ・ 前年度助成の結果報告書
- ・ 本年度の機関誌「サウンド」の助成研究報告記事

また、日常業務のデータベース作りとして、本年度の研究助成に関連して収集した論文・資料を音声、騒音、生体、音楽、音響、超音波、その他に分類・整理して便覧・索引集を作成した。

2. 研究助成事業

1) 平成22年度研究助成

平成21年12月より平成22年2月27日までを期間とし、全国の国立大学、私立大学等の試験研究機関及び過去の助成申請者等580件余へ機関誌「サウンド」第25号と助成案内を送付して直接的に募集活動を行うとともに、音響学会誌、電子情報通信学会誌等及び財団ホームページを通じて広報に努めた。

その結果48の大学等研究機関より72件にのぼる応募を得て、事前書類審査を踏まえて5月6日に審査委員会を開催して10件を選定した。

理事長にこれを報告し承認を得て、平成22年5月24日東京ガーデンパレスにおいて助成金贈呈式を行った。

助成金対象者は次の通りである。(所属・役職は申請当時)

(1) 騒音の社会調査データアーカイブの構築

熊本大学 大学院 自然科学研究科 教授 矢野 隆

(2) 火山噴火活動推移予測のための噴火低周波音の観測研究

東北大学 大学院 理学研究科 助教 横尾 亮彦

(3) 視覚と聴覚と2重障害児(盲聾)のための新しい骨導システムによる音楽教育に関する研究

東京医療センター 臨床研究センター 研究員 新正由紀子

(4) Music Pipe - 任意のメロディと楽器編成からアンサンブル用重奏譜面を生成する編曲手法の研究と編曲支援システムの開発

名古屋工業大学 大学院 工学研究科 助教 酒向 慎司

(5) MEMS 圧力センサと音響管を用いた小型音源方向定位デバイス

東京大学 大学院 情報理工学系研究科 助教 岩瀬 英治

(6) 高認識率・低騒音を達成する音声認識用マスク型マイクの開発と応用領域研究

吉備国際大学 社会学部 教授 佐藤 匡

(7) 圧縮性 LES を用いたエアリード楽器の発音機構の数値解析

九州工業大学 情報工学部 准教授 高橋 公也

(8) 静穏性と安全性を両立したHV/EVの接近報知音デザインに関する研究

長崎大学 工学部 情報システム工学科 助教 山内 勝也

(9) 生命科学分野での時系列データ可聴化の試み

筑波大学 先端学際領域研究センター 博士研究員 寺澤 洋子

(10) 騒音下における活性酸素発生の蝸牛内ライブイメージング

東京大学 医学部 耳鼻咽喉科 特任研究員 吉川 弥生

2) 助成研究成果報告概要書の作成

平成21年度助成対象者からの助成研究結果報告をとりまとめて概要書を作成し、各助成対象者に配布するとともに、国立国会図書館等5館、国公立及び主要私立大学88校に配布した。

3) 平成23年度研究助成募集活動

一般財団法人に移行するのに伴い、平成23年度からは研究助成をサウンド技術振興部門と音楽振興部門の二部門体制で行うこととなった。

平成22年12月より平成23年2月26日を締切日として募集活動を実施した。サウンド技術振興部門は国公立大学及び主な私立大学のほか過去の助成申請者等に対して、音楽振興部門は全国の音楽大学や音楽教育学部のある大学等に対して、それぞれ募集活動を実施した。

3. 講演会等の事業

1) 講演会開催

(1) 3件の研究助成テーマにより講演会を開催した。

名称 第22回研究助成講演会

後援 浜松市、浜松商工会議所

期日 平成23年1月31日(月)

会場 アクトシティ浜松 研修交流センター 6F 62研修交流室

参加者 約50名

演題 いずれも平成22年度研究助成対象

「生命科学分野での時系列データ可聴化の試み」

筑波大学 生命領域学際研究センター 研究員 寺澤 洋子氏

「Music Pipe - 任意のメロディと楽器編成からアンサンブル用重奏譜面を生成する編曲手法の研究と編曲支援システムの開発」

名古屋工業大学 大学院 工学研究科 助教 酒向 慎司氏

「圧縮性LESを用いたエアリード楽器の発音機構の数値解析」

九州工業大学 情報工学部 准教授 高橋 公也氏

4. 刊行物等の事業

東京大学名誉教授 加我君孝氏の巻頭言をはじめ、長崎大学助教 山内勝也氏、京都大学助教 横尾亮彦氏、ハーバード大学研究員 岩瀬英治氏、吉備国際大学教授 佐藤 匡氏(いずれも平成22年度研究助成対象者)から執筆を頂き、機関誌「サウンド」第26号を編集し、平成23年1月に発行して大学等関係機関、図書館、過去の助成申請者等698件に配布した。また研究助成テーマ、調査研究報告書等の一覧も掲載して広報に努めた。

5. 評議員会・理事会、評議員選定委員会の開催

1) 第58回評議員会・第71回理事会

(1) 期日及び場所

平成22年5月24日(月) 東京ガーデンパレス

(2) 附議事項

第1号議案 平成21年度事業報告(案)・収支計算(案)の承認に関する

件

第2号議案 平成22年度収支予算の修正に関する

第3号議案 定款の変更の案の件

第4号議案 最初の評議員候補者の推薦の件

第5号議案 議事録署名人の選任に関する件

(3) 議事進行要約

第1号から第4号議案については、事務局が逐条説明を行い、評議員会・理事会各々異議なく全会一致で承認可決された。

第5号議案については、議長が説明を行い、評議員会・理事会各々異議なく全会一致で承認可決された。

評議員会 小林 純一氏 花田 修治氏

理事会 小野修一郎氏 小島 康壽氏

なお、この折り平成22年度研究助成金の贈呈式を併催した。

2) 評議員選定委員会

(1) 期日及び場所

平成22年6月23日(水) 東京ガーデンパレス

(2) 附議事項

第1号議案 議長選出の件

第2号議案 最初の評議員選任の件

(3) 議事進行要約

第1号第2号議案とも、事務局が逐条説明を行い、異議なく全会一致で承認可決された。

3) 第59回評議員会・第72回理事会

(1) 期日及び場所

平成22年11月1日(月) 東京ガーデンパレス

(2) 附議事項

第1号議案 一般財団法人移行後の役員の選任に関する件

第2号議案 一般財団法人移行の認可申請に関する件

第3号議案 一般財団法人移行後の内部規程等に関する件

第4号議案 議事録署名人の選任に関する件

(3) 議事進行要約

第1号から第3号議案については、事務局が逐条説明を行い、評議員会・理事会各々異議なく全会一致で承認可決された。

第4号議案については、議長が説明を行い、評議員会・理事会各々異

議なく全会一致で承認可決された。

評議員会 花田 修治氏 大津 展之氏
理事会 細矢 佑二氏 小野修一郎氏

6. 庶務事項

1) 経済産業大臣への提出書類

(1) 平成22年4月15日付で最初の評議員の選任方法の認可申請書を提出し、平成22年4月27日付で認可書を受領した。

添付書類は下記の通りである。

最初の評議員の選任方法

第57回評議員会議事録及び第70回理事会議事録謄本

(2) 平成22年6月25日付で定例報告書を提出した。

添付書類は下記の通りである。

平成21年度事業報告書

平成21年度収支決算書及び財産目録

平成22年度事業計画書

平成22年度収支予算書

第57回評議員会議事録及び第70回理事会議事録謄本

第71回理事会議事録及び第58回評議員会議事録謄本

(3) 平成22年8月31日付で理事変更登記完了届を提出した。

添付書類は下記の通りである。

新旧理事名簿

登記簿謄本

略歴書

理事就任承諾書(写)

第57回評議員会議事録及び第70回理事会議事録謄本

2) 公益認定等委員会への提出書類

(1) 平成22年11月13日付で一般財団法人への移行認可申請書を提出し、平成23年3月23日付で認可書を受領した。(平成23年4月1日付で一般財団法人カワイサウンド技術・音楽振興財団への移行登記と財団法人サウンド技術振興財団の解散登記を完了)

3) その他

(1) 平成22年6月10日 第40回国際騒音制御工学会議 INTER-NOISE

2011 の開催趣意に賛同し、組織委員会に対して15万円の寄附を実施した。